

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公開番号】特開2003-201267(P2003-201267A)

【公開日】平成15年7月18日(2003.7.18)

【出願番号】特願2002-316558(P2002-316558)

【国際特許分類】

C 0 7 C	67/29	(2006.01)
C 0 7 C	69/54	(2006.01)
C 0 8 F	8/02	(2006.01)
C 0 8 G	59/14	(2006.01)
C 0 8 G	63/91	(2006.01)
C 0 8 G	65/332	(2006.01)
C 0 8 G	85/00	(2006.01)
C 0 8 F	299/02	(2006.01)

【F I】

C 0 7 C	67/29	
C 0 7 C	69/54	A
C 0 7 C	69/54	Z
C 0 8 F	8/02	
C 0 8 G	59/14	
C 0 8 G	63/91	
C 0 8 G	65/332	
C 0 8 G	85/00	
C 0 8 F	299/02	

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月31日(2007.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 (メタ)アクリロイル基とビニルエーテル基とを共に有する化合物を該ビニルエーテル基と付加反応しうる官能基を2個以上有する化合物と反応させることを特徴とする(メタ)アクリロイル基を有する化合物の製造方法。

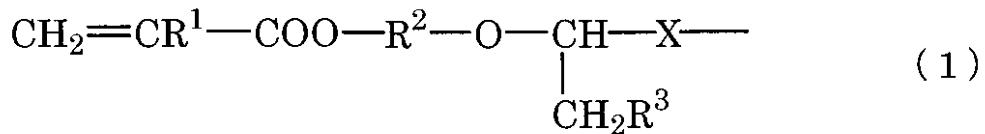
【請求項2】 水酸基、カルボキシル基及びチオール基からなる群より選ばれる一種以上の官能基を2個以上有する化合物(A)及び(メタ)アクリロイル基とビニルエーテル基とを共に有する化合物(B)を、(A)の有する該官能基と(B)の有するビニルエーテル基とを付加反応することによって得られる

ことを特徴とする(メタ)アクリロイル基を有する化合物。

【請求項3】 前記水酸基、カルボキシル基及びチオール基からなる群より選ばれる一種以上の官能基を2個以上有する化合物(A)は、エポキシアクリレート、不飽和ポリエステル、フェノール樹脂、エポキシ樹脂、フェノキシ樹脂、水酸基含有ポリマーであることを特徴とする請求項2記載の(メタ)アクリロイル基を有する化合物。

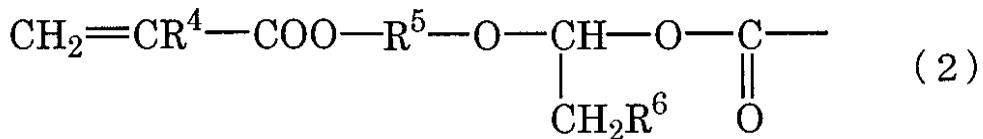
【請求項4】 下記一般式(1)；

【化1】



(式中、 $\text{R}^1$ は、水素原子又はメチル基を表す。 $\text{R}^2$ は、有機残基を表す。 $\text{R}^3$ は、水素原子又は有機残基を表す。 $\text{X}$ は酸素又はイオウ原子を表す。)で表される(メタ)アクリロイル基を有する基及び/又は下記一般式(2);

【化2】



(式中、 $\text{R}^4$ は、水素原子又はメチル基を表す。 $\text{R}^5$ は、有機残基を表す。 $\text{R}^6$ は、水素原子又は有機残基を表す。)で表される(メタ)アクリロイル基を有する基を1分子中に2個以上有する

ことを特徴とする(メタ)アクリロイル基を有する化合物。

【請求項5】 請求項2~4のいずれかに記載の(メタ)アクリロイル基を有する化合物と、無機充填材及び/又は導電性付与剤とを含むことを特徴とする組成物。